

第44回「体育会表彰団体・個人一覧」

団体の部

【最優秀団体賞】

◇バスケットボール部(男子)	▽全日本学生選手権＝準優勝▽関東大学選手権＝優勝▽関東大学リーグ戦＝準優勝▽京王電鉄杯10大学フェスティバル＝優勝
----------------	---

【優秀団体賞】

卓球部(男子)	馬術部	フェンシング部(女子)	ローラースケート部
---------	-----	-------------	-----------

【敢闘団体賞】

ゴルフ部(女子)	スキー部(男子)	スキー部(女子)	相撲部
バスケットボール部(女子)	フェンシング部(男子)		

【校友会賞】

バスケットボール部(男子)

個人の部

【最優秀選手賞】

田中 章仁(レスリング)	▽全日本選手権F＝優勝▽全日本選抜選手権F＝優勝▽国民体育大会F＝優勝(福岡県代表)▽全日本学生選手権F＝優勝、G＝優勝、文部科学大臣杯受賞▽全日本大学選手権F＝優勝▽全日本大学グレコローマン選手権G＝優勝、最多フォール賞▽世界大学選手権F・個人＝10位(日本代表)▽デーブシュルツ国際大会F・個人＝準優勝(日本代表)▽ヤシヤドク国際大会F・個人＝3位(日本代表)▽ダンコロフ国際大会F・個人＝5位(日本代表)▽アジア選手権F＝出場(日本代表)
--------------	--

※F＝フリー120kg級、G＝グレコ96kg級

【優秀選手賞】

清澤恵美子(スキー)	西村 誉士(スピード)	出島 茂幸(スピード)
中川 和之(バスケット)	長南真由美(バスケット)	森川友紀子(ローラー)

【殊勲選手賞】

松本 勝範(剣道)	横山 倫子(ゴルフ)	水島 茜(水泳)
佐藤 栄一(スキー)	駒村 裕子(スキー)	樋口 吉和(スキー)
安田かずみ(スキー)	北林亜砂子(スキー)	中西 健二(相撲)
今林弘一郎(相撲)	波多野和也(バスケット)	大宮 宏正(バスケット)
川内 将嗣(ボクシング)	岩崎 健太(レスリング)	大山 健太(レスリング)
稲葉 泰弘(レスリング)	北村 克哉(レスリング)	齊藤 卓聡(ローラー)

【敢闘選手賞】

伊藤 慶介(アイスホッケー)	遠山 嵩之(アメフト)	鹿島 弘道(アメフト)
木村健太郎(アメフト)	村田 隼平(アメフト)	横尾 拓二(アメフト)
立花 隆雄(アメフト)	赤木 雅英(アメフト)	田代 和也(準硬式野球)
新井 藍(準硬式野球)	清野 大輔(スキー)	荒 倫宏(スピード)
原 雅彦(卓球)	杉田 早苗(卓球)	石原 伶奈(テニス)
森 裕悟(馬術)	田原 孝幸(馬術)	長澤 晃一(バスケット)
田中 佑弥(バスケット)	浅野 崇史(バスケット)	川村 良子(バスケット)
寺田 直生(フェンシング)	伊藤 博久(フェンシング)	下野 滋史(フェンシング)

荻 祥子(フェンシング)	阿部 秀嗣(フェンシング)	池澤 春光(フェンシング)
島村 智博(フェンシング)	今野 勝(フェンシング)	舟山 紗智(フェンシング)
鈴木 彩香(フェンシング)	小野 誠幸(フェンシング)	佐々木智子(フェンシング)
松本 智之(ボディビル)	金森 道(レスリング)	山口 太郎(ローラー)
庄司 郁佳(ローラー)	土屋 舞(ローラー)	

【最優秀新人賞】

川内 将嗣(ボクシング)	▽九州アマチュア選手権＝優勝▽全日本アマチュア選手権＝準優勝
--------------	--------------------------------

※ライトウェルター級

【新人賞】

村田 隼平(アメフト)	横尾 拓二(アメフト)	立花 隆雄(アメフト)
赤木 雅英(アメフト)	安田かずみ(スキー)	北林亜砂子(スキー)
杉田 早苗(卓球)	田中 佑弥(バスケット)	浅野 崇史(バスケット)
佐々木智子(フェンシング)	稲葉 泰弘(レスリング)	北村 克哉(レスリング)

【育友会賞】

田中 章仁(レスリング)	川内 将嗣(ボクシング)
--------------	--------------

【功労賞】

平木 隆氏(体操部前部長、ローバースカウト同好会前部長)
中田 武司氏(バレーボール部前部長)
山寺 範佳氏(山岳部前監督)
下平 一滋氏(自動車部前監督)
小崎 剛氏(柔道部前監督)
新関 光一氏(バスケットボール部男子前監督)
石田 龍夫氏(バレーボール部前監督)

【学生功労賞】

遠藤 晃紀(体育会本部前委員長)	高橋奈津子(情宣局編集部前編集長)	佐藤 百合(バスケット)
猪本 亮(卓球)	田原 孝幸(馬術)	坂本 芳恵(フェンシング)
山口 太郎(ローラー)	青木 沙織(アーチェリー)	堀口 孝介(剣道)
橋本 智子(スキー)	吉田 真人(卓球)	稲尾 隆宏(ヨット)
岡元 大(バレーボール)	渡辺 啓太(バレーボール)	上野堅太郎(レスリング)

【学生感謝状】

学生自治会

〈学生は敬称略。カッコ内は部名。アメフト＝アメリカンフットボール、スピード＝スピードスケート、バスケット＝バスケットボール、ローラー＝ローラースケートの略〉

早くも「箱根」効果 ハーフマラソンで活躍

専大勢が表彰台を独占 神奈川マラソン(ハーフ)



神奈川マラソン大会が2月6日、横浜市磯子区で行われ、専大からはハーフマラソンの部に6人が出場。長谷川淳(経済2・専大松戸高)が自己記録を3分以上も縮める1時

間3分51秒で優勝、伊深智広(経営3・磐城高)が1時間4分13秒で準優勝、山本和也(商2・藤代高)が1時間4分25秒で3位と専大勢が表彰台を独占した。

長谷川再び自己記録更新 立川マラソン(ハーフ)



学生ハーフマラソンの部に13人が出場した立川マラソン(3月13日、国営昭和記念公園)では、長谷川が再び自己記録を塗り替え、1時間3分22秒で7位入賞。彦久保文章(商3・藤沢翔陵高)も1時間4分で15位と健闘した。

「箱根をきっかけに、選手たちの練習に取り組む姿勢が変わった」と加藤覚監督が語るように、箱根駅伝出場が大きなプラスとなったようだ。長谷川は「次は関東インカレでの入賞目指して頑張ります」と話した。(宮山 友希・文1)

球春 1部復帰へ基礎固め

野球部 東都大学野球4月2日開幕



春の訪れとともに今年も野球シーズンが始まろうとしている。いよいよ4月2日から東都大学野球春季リーグ戦(2部)が開幕(日程は別表参照)。専大野球部は悲願の1部復帰に向けキャンプで猛練習に励み、オープン戦で調整を続けている。

日に日に暖かさを増す中、専大伊勢原野球場では連日、活気溢れる練習が行われている。チームは昨年から引き続き「守りの野球」を目指し練習に励んでいる。長谷高成泰監督は「レギュラーは未定だが、開幕戦には万全の体制で臨みます」と話し、シーズンに向け「走・攻・守、すべてに意欲的に取り組むことが大切」と語る。「秋は1部でプレーをする」と抱負を語るのは浦雅新主将(商3・池田高)。開幕を直前に控え「大学最後の年、これまでの経験を生かして飛躍の年にしたい」と力強く決意を話す。昨年は、春季・秋季ともに優勝を果たしたが、入れ替え戦で涙を飲んだ。「当たり前のプレーがきちんと出来れば勝てないことはない」と語る長谷高監督。今年の野球部の活躍は間違いない。

(末永 恵・文2)

(清水 智之・ネット情報1)

東都大学野球春季リーグ戦(2部)

4月2日(土)	専修大ー立正大	(10:30)
4月3日(日)	立正大ー専修大	(13:00)
4月18日(月)	専修大ー東農大	(10:30)
4月19日(火)	東農大ー専修大	(13:00)
4月25日(月)	専修大ー拓殖大	(10:30)

4月26日 (火)	拓殖大－専修大	(13:0 0)
5月9日(月)	専修大－國学大	(10:3 0)
5月10日 (火)	國学大－専修大	(13:0 0)
5月23日 (月)	専修大－国士大	(10:3 0)
5月24日 (火)	国士大－専修大	(10:3 0)

- ◇神宮第2球場で開催(ただし、4月 2、3日は東農大球場)
- ◇雨天、その他は順延
- ◇神宮テレホンサービス 電話番号 03 (3401) 8770
- ◇東都大学野球連盟ホームページ <http://www.tohto-bbl.com/>

リーダーの理想像追求

第41回専修大学体育会リーダーズキャンプ(体育会本部主催)が、3月1、2日、静岡県伊東市の「ホテルニュー岡部」で行われた。今回のテーマは「リーダーの自覚とは～明日の自分・チームのために～」。各部の主将、主務ら93人が参加し、リーダーとしての役割や意識などについて意見を交わした。

両日とも特別講演が開催され、1日目は辻秀一エミネクロスメディカルセンター長が「勝利学—心技体を変化させる—」を題材に、2日目は刈屋富士雄NHKチーフアナウンサーが「栄光への架け橋—トップアスリートとは—」をテーマに講演。グループ実習、懇談会なども行われ、参加者はリーダーとしての役割を認識した。

(伊東 明希・文2)

【ニュース専修2005年3月号15面】